

言の葉

～和歌山県言語聴覚士会 機関紙～

第20号

2020年8月

挨拶	1	施設紹介	10
総会報告	2	ST って楽しい!?	11
各局活動抱負	3	理事会議事録要約	12
新入会員挨拶	6	新入・異動・退会等会員情報	14
本紹介	9	編集後記	15

会長挨拶

会長 琴の浦リハビリテーションセンター 山崎 良一



この度の新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様および影響を受けられた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。皆様におかれましては一日も早く平常な暮らしに戻ることができますようお祈り申し上げます。

さて、今年度の定時社員総会は新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、会場出席者は理事と監事のみとし、書面による参加を中心とせざるを得ない状況となりましたが、多くの会員に書面評決を提出して頂き総会を成立することができました。理事会を代表して会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

また、総会後の令和2年度第一回理事会におきまして、前期に引き続き会長に選出されましたことをご報告いたします。今年度は第22回言語聴覚士国家試験に合格された8名の言語聴覚士が当会に入会されました。本来であれば定時社員総会終了後に新入会員歓迎会でお迎えするのですが、今回は延期させて頂きました。状況が好転しましたら皆様をお迎えしたいと考えています。今年度は予定している各局の事業が十分に行えない状況が予測されますが、このような状況の中で今出来ることを模索しながら会務を進めていきたいと思っております。

一日も早い新型コロナウイルスの感染症の終息と、皆様のご健康をお祈り申し上げます。

総 会 報 告

事務局理事 和歌山ろうさい病院 岩本 吉城

令和2年6月28日（日）和歌山市東部コミュニティセンター2階会議室にて一般社団法人 和歌山県言語聴覚士会 令和2年度定時社員総会が開催された。今年度の定時社員総会は、新型コロナウイルス（COVID-19）感染拡大の懸念から会員の参加を自粛していただき、役員のみでの総会開催に手法変更し、会員からは書面による委任状・議決権行使書にて意向が反映できる方法で行われた。

10：00～ 令和2年度定時社員総会が開催された。司会の山崎良一会長により開会宣言があり、続いて山崎良一会長より挨拶が行われた。次に定足数報告があり、令和2年度議決権のある正会員165名、そのうち会場出席者11名、電話会議出席者1名、委任出席者51名、議決権行使書提出者54名、合計117名で総会は適法に成立した旨が宣言された。議長に古久保良理事が選出され、書記に岩本吉城理事が任命され、総会が進行した。

第1号議案 令和1年度事業報告に関する件は、各担当局理事より報告があり、賛成多数で承認された。第2号議案 令和1年度決算報告に関する件は中武夕真理事より報告がなされた後、坂井俊文監事より「令和2年4月10日に監査を行った結果、会計は適正に処理しているものと認める」と報告があり、賛成多数で承認された。第3号議案 令和2年度事業計画案に関する件は、各担当局理事より説明があり、賛成多数により承認された。第4号議案 令和2年度予算案に関する件は、中武夕真理事より説明がなされ、賛成多数で承認された。第5号議案 役員承認に関する件は、山崎良一会長より説明がなされ、賛成多数で承認された。第6号議案 その他に関する件は山崎良一会長より説明がなされ、賛成多数で承認された。

11：10 議長は本日の議事が終了した旨を述べ、閉会を宣言した。



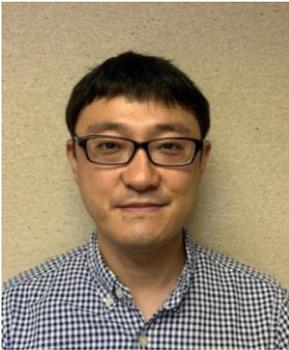
各局活動抱負

副会長 訪問看護ステーション中紀 天野 哲弥



今期も副会長を務めさせていただきます。県士会では効率化と経費節減のため理事会の会合を減らしてリモート会議を推進していくことになりました。わりと最近までガラケーおじさんだった私はLINEなどのアプリの便利さとその普及率に驚きました。奇しくもこのコロナ禍において新しいコミュニケーションの形として常識化しつつありますが、同時にSTもこの変革に対応していかななくてはならないように感じました。PC やスマホなどデジタルデバイスの簡便性が生かせるよう、タッチポインティングや文字入力の訓練を取り入れたり、遠隔訓練やコミュニケーションアプリの開発など未来のSTの姿にも期待しています。

副会長 紀南病院 古久保 良



令和元年11月23日に和歌山JRATが正式に発足し、本格的な災害リハビリテーション事業が開始されました。今年度の活動として、災害時のJRAT活動を認めてもらうため和歌山県と協定を結ぶ渉外活動を行っていきます。また、年2回の研修も行っていく予定です。今年度はWeb開催を検討していますので、今まで以上に参加しやすい環境を整えていきます。会員の皆様には引き続き災害リハビリテーション事業へのご理解とご協力をお願いいたします。

事務局理事 和歌山ろうさい病院 岩本 吉城



令和2年度定時社員総会を新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大の懸念により、必要最小限の人数にて開催させて頂き、会員みなさまのご協力の下無事終了することができました。本年度の各局事業につきまして新型コロナウイルス感染の動向を見ながら、みなさまの安全を第一に考え実施していきますので、事務局も全力でサポートしていきます。また当会ホームページをリニューアルして3年目を迎えます。みなさまにより情報を分かりやすくお伝えできるホームページとなるようにデザインや構成をさらに改善していきます。

今後とも皆様のご協力とご支援を賜れるよう最善を尽くしていきますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

学術局理事 中谷病院 青木 健太



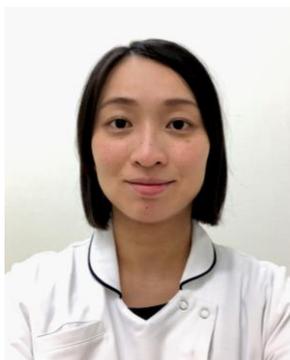
今年度より、学術局を担当させていただくことになりました医療法人裕紫会中谷病院の青木健太と申します。今年度の総会と同時開催予定であった、第一回和歌山県言語聴覚士会学術集会は、COVID-19 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、延期という形となりました。全国では、ZOOM 等を使用したオンラインによる学術大会が開催されており、今後も感染症の拡大によっては当会でもオンラインによる勉強会開催を検討していく予定です。会員の皆様のお力添えが必要になることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。

社会局理事 公立那賀病院 静 智弘



今期も理事・社会局を務めさせていただきます公立那賀病院の静です。社会局の主な仕事は大きく2つあります。まず1つ目に当会は毎年秋に開催される和歌山県病院協会学術大会を共催させていただいております。会員の先生方には、毎年演題発表をしていただいておりますが、出来ればSTのみのセッションを1つは！と考えております。たくさんの演題発表をお待ちしております。2つ目はST啓発目的でのブース出展を各イベントで行っております。「人権フェスタ（毎年11月開催）」では失語症友の会紀の国会と隣接するブースで、PT・OT会と共同で参加者体験型スタンプラリー形式（STではTMT類似課題を体験）をとっております。さらにリビング和歌山主催の「みんなの健康フェア」では、反復唾液嚥下検査、簡易聴力検査、相談など行っております。ただ、コロナ禍によってこれら学術大会、イベントの中止や規模縮小も考えられます。十分な感染対策をとった上での開催も再開されつつありますが、まだまだ予断を許さない状況です。今後は、イベントの開催方法・内容が変わってくるかもしれませんが、引き続きご理解とご協力をよろしくお願い致します。

広報局理事 白浜はまゆう病院 土井 真衣



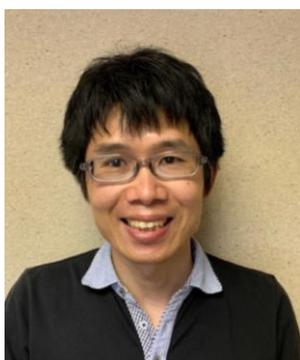
今期も広報局理事を務めさせていただきます、白浜はまゆう病院の土井真衣と申します。前回の選挙から早いもので2年が経ち、理事の先生方が県士会の運営に色々なご尽力を下さっていることを知ることができました。広報局では広報紙のデジタル化、SNSの試みなどが進んだ2年間であり、会員の皆様には寄稿やデジタル化に日々ご協力を頂き感謝申し上げます。ST業界では病院や施設を超えての仕事が増えてきております。今期もSTの活動・活躍をできるだけ幅広くお伝えできるような広報活動を目指していきたいと思っております。どうぞ引き続きの御理解・御協力をよろしくお願い致します。

教育局理事 南和歌山医療センター 中瀬 通子



今年度より教育局理事をさせていただきます。初めての為ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、精一杯務めさせていただきます。今年度は COVID-19 の影響で、集合型での基礎・専門講座の開催は難しいのではないかと思います。今後オンライン研修の導入も予想されます。地方に住む我々にとっては、オンライン研修によって様々な講座の受講が可能となれば、自己研鑽の機会が増えるかもしれません。全国の動向に注意し、準備を進めていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

地域支援局理事 紀和病院 尾藤 博隆



新しく創設された地域支援局の理事を務めさせていただきます。地域支援局では、和歌山県から受託している失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業を担っていきます。当事業は去年から開始しており、初年度は 10 名の方が無事に研修を修了しました。今後、修了者の派遣事業にも参画していく予定ですが、地域支援局員が私 1 人しかおらず、一緒に活動していただける会員の方を大募集中です。ご協力よろしくお願い致します。

地域包括ケア推進局理事 桜ヶ丘病院 水田 達也



国は 2040 年に向けて、高齢者を中心に動いていた地域包括ケアシステムを進化し、様々なハンディを抱えていても地域で生活できる社会(共生社会)を目指しています。当局は言語障害児・者の社会参加の一助を担うことを目的に活動しており、市町村の介護予防事業を通じて一般の方や行政に対して言語障害について啓発を行っています。しかし、事業を経験する中で言語聴覚士自体あまり知られていないという現実にも直面します。新型コロナによりコミュニケーションの在り方も考えさせられる昨今だからこそ、言語障害の方への支援について発信したり、我々言語聴覚士のことも知ってもらう機会を設けていきたいと思っています。

財務局理事 愛徳医療福祉センター 中武 夕真



今年も財務局担当理事をさせていただくことになりました、中武夕真です。2 年前より自動払い込みの開始、ゆうちょ銀行以外からの振込を可能にするための口座番号公表などに取り組んできました。財務局は皆さまから集めた年会費を管理する重要な仕事だと思っていますので、引き続き地道に頑張っていきたいと思っています。また、最後にご案内になりますが、年会費の納入がまだの方はお早めに納入していただきますようよろしくお願いいたします。

監査役 河西田村病院 西本 千津



引き続き幹事を務めさせていただきます。和歌山県言語聴覚士会の運営が適正であるよう、監査を行い県士会の活動がさらに飛躍したものとなるよう尽力したいと存じます。どうぞよろしくお願い致します。

監査役 橋本市民病院 坂井 俊文



昨年に引き続き監査を務めさせていただくことになりました。適正な会計監査に努めたいと考えております。宜しくお願い致します。

新入会員挨拶

河西田村病院 小川 千恵美



この度、河西田村病院に入職致しました小川千恵美と申します。私が言語聴覚士を目指すきっかけとなったのは、脳梗塞で摂食嚥下障害を発症した祖母の影響でした。食べたいけれど食べられない葛藤を目の当たりにし、手助けが出来ないかと思ったことが始まりです。

現在言語聴覚士として4ヶ月が経ち、まだまだ理想には近づいていませんが理想に近づけるよう努力します。そして、患者様やご家族の手助けが出来るよう日々勉強に励みます。まだまだ至らない点ばかりですがご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

紀南病院 小倉 佑子



4月から紀南病院で勤務しております、小倉佑子と申します。宜しくお願い致します。毎日患者様から学ばせてもらうことがとても多く、日々奮闘しております。今後とも御指導、御鞭撻の程宜しくお願い致します。

济生会有田病院 木下 初音



今年度より言語聴覚士として济生会有田病院に入職致しました木下初音と申します。入職して3ヶ月が経ち、患者様と直接関わることで患者様の人生に大きく関わっていくという責任を感じると共に、先輩方から多くのことを学ばせて頂きながら日々臨床に奮闘しております。患者様に寄り添い、信頼関係を築ける言語聴覚士を目指し、日々成長していきたいと思っております。今後ともご指導の程よろしくお願ひします。

济生会有田病院 竹内 萌



今年度よりお世話になります竹内と申します。少しでも早く患者様の力になれるような言語聴覚士になるため、今まで以上に勉学に励み経験を積んでいきたいと思ひます。特に高次脳分野に興味があるため、様々な勉強会などに参加させて頂きたいと考えています。至らない点が多くご迷惑をおかけすることもあると思ひますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ致します。

中谷病院 根木 星奈



今年の4月から中谷病院に入職しました、根木星奈と申します。入職して数ヶ月が経過し分からないことが多く悩むこともたくさんありますが、知識や技術をさらに身につけていきたいと感じています。また、患者様ひとりひとりに合った関わり方をしつていき患者様やご家族様に寄り添える言語聴覚士になりたいと思ひています。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ致します。

和歌山ろうさい病院 西山 実来



今年から和歌山県言語聴覚士会に入会致しました、和歌山ろうさい病院言語聴覚士の西山実来と申します。近日はコロナウイルスの為学会などが中止となり先生方にお会いする機会がない状況ですが、今後学会や勉強がある際は先生方のご意見、ご指導の程よろしくお願ひ致します。

1年目であり未熟者ですが臨床で様々な経験を積み、先生方のように成長できるように精進していきます。今後ともよろしくお願ひ致します。

介護老人保健施設ルピナス 上地 友里佳



はじめまして、上地友里佳と申します。那智勝浦町にある介護老人保健施設ルピナスにて働いております。

個々の生活に寄り添うリハビリを提供したいと考えておりますが、利用者様に十分なリハビリの提供が出来るのか自問自答の日々です。言語聴覚士2年目となりましたが1人職場のため相談出来る先輩もおらず、先生方にはご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

和歌山つくし医療・福祉センター 黒田 晋平



今年度より入会させて頂くことになりました、和歌山つくし医療・福祉センターの黒田晋平と申します。学生時代、県内2カ所の長期実習先で言語聴覚士としての働き方や醍醐味を学び、生まれ育った地域で働きたいと思うようになりました。そして、かねてより希望していた重身・小児領域に携わることになりました。入所者様や外来患者様から日々刺激を受けながらスキル向上に努めております。今後ともよろしくお願いいたします。

新入会員の皆さまご入会して頂き
ありがとうございます！！
私達と一緒に和歌山県言語聴覚士協会を
盛り上げていきましょう(´ω`*)ノ



本 紹 介

本紹介をリレー方式で行っています。自分が読んでみて「おもしろかった」「参考になった」など感じた本をご紹介します。

南紀医療福祉センター 竹本 共子

題 名：「なつみはなんにでもなれる」

著 者：ヨシタケシンスケ

出版社：PHP 研究所

今回、本紹介の依頼を受け何の本を紹介しようかと悩みましたが、私は小児分野の ST なので日々臨床をしている中で子供たちと一緒に読み「次は何かな～？」とワクワクして待ったり、「〇〇ちゃう～？」と当てっこをしてやりとりを楽しみ、発達障害がある子供達はこんな傾向があるな～という評価も出来る本にしました。

この本は、素晴らしい！！

内容は、主人公のなつみちゃんが自分の体や物を使って色々な物・人になり、お母さんに問題を出す(お母さんに当ててもらおう)内容です。

子供目線での素晴らしい観察力や一生懸命伝えたいという気持ちの大切さ、ノンバーバルでもこんなに伝える手段があるということ、子供たちの無限の発想力を感じさせられる本です。

こんな風に親子でコミュニケーションをとる時間が、子供の発達に本当に大切な時間だと思います★

皆さんも興味がありましたら、お手に取ってみてください。我が子(小学5年生)もオススメとの事です(笑)

*次回は和歌山つくし医療・福祉センター 阪井友哉先生にお願いしています。



施設紹介

<和歌山つくし・医療福祉センター>



当センターは和歌山県の北、岩出市にあり、入所者 136 名の重症心身障害児・者の生活サポートやリハビリをおこなっています。また、小児外来も併設しており、那賀圏域や大阪南部、奈良などの幅広い地域の発達障害のお子さん達のリハビリも担っています。

近年は外来利用者が急激に増加し、それに伴いリハビリスタッフも増え、現在のリハビリテーション室は理学療法士 8 名・作業療法士 9 名・言語聴覚士 6 名・リハビリ事務員 1 名が在籍しています。大所帯になりつつも若いスタッフが多いのが特徴です。明るく楽しいメンバーが揃っており、笑顔の絶えない職場です。リハビリ技術と知識の向上、情報交換とコミュニケーションによる様々な職種との密な連携、安全面の配慮をおこなう事での事故・感染症の予防、地域連携の 4 本柱を目標にして日々精進しております。

<和歌浦中央病院>

この度病院紹介をさせていただき和歌浦中央病院言語聴覚士 (ST)3 名です。当院では PT:11 名 OT:3 名 ST:3 名でのリハビリテーションを提供させて頂いています。左から濱田栞奈・水根朗・福岡志帆です。

日々、様々な患者様との出会いを大切に地域の皆様から「親しまれ、信頼され、選んでいただける病院」を目指し頑張っています。ST(言語聴覚士)では食べる喜びを話せる喜びを！当院では様々な職種との連携を図っています。「食」では医師・看護師・管理栄養士など様々な職種の方々と共に。退院後の患者様に対し、在宅介護事業部・地域連携室等と共に。患者様・家人様の笑顔を見たく、そして明るい会話が弾むような言語聴覚療法を提供していこうと思っています。



今年は新型コロナウイルスが流行し皆様の日常生活も大変かと思われます。また暖かい季節から暑い季節に変わってきています。みなさんもしっかりと水分補給をして体調管理を怠らないよう気をつけましょう。
※当院の詳細は、ホームページを開設しております。

ST の仕事って楽しい!?

このコーナーでは、会員が日常の中で『ST の仕事って楽しい』と思う事についてエッセイを掲載しています。

宇都宮病院 田中 和代

宇都宮病院の田中と言います。今回、“ST の仕事って楽しい!?”という原稿依頼が来て改めて考えてみました。言語面でも嚙下面でも少しでも改善し喜んでもらえるのが1番ですね。「喋ること」「食べる事」自分がして楽しいことを仕事に出来ているなあ。最高ですね（最近来られた患者さんの口癖をまねてみました）自分も喋りにくくなったり、食べにくくなってきたらどうして欲しいのか？を常に考えながら患者さんと向き合うようにしています。これからその人が生きていく環境、背景なども考慮しながら、その人のベストを考え毎回訓練に取り組むようにしています。

宇都宮病院には3年前から勤務しています。それまで全くSTが在籍したことなく、STってどんなことが出来るのか？から始まり、今年1人の新人を迎えました。2人で毎日楽しく仕事ができるように取り組み始めたところです。皆様の協力を得ながら盛り上げていきたいと考えています。



議事録要約

令和2年度総会準備理事会

開催日：R2年4月4日（土）14：00～

場 所：南部コミュニティセンター2F 活動室

参加者：山崎 天野 岩本 静 水田 青木

テレビ電話参加 古久保 土井 中武

○検討事項

理事選挙告示 4月10日

総会は6月28日に東部コミュニティセンターにて役員のみで開催する。

会員にはコロナウイルス感染防止のため書面評決をお願いする。

総会議案書は6月初旬に発送予定。

懇親会は中止。学術大会は延期とする。

失語症支援者養成研修説明会中止

令和2年度第1回理事会

開催日：R2年6月28日（日）11:20～12:00

場 所：和歌山市東部コミュニティセンター2F 会議室

参加者：山崎 天野 古久保 岩本 静 水田 中武 青木 中瀬 尾藤
坂井（監事）

テレビ電話参加：土井

○検討事項

会長：山崎良一理事が代表理事に選出された。

副会長：天野哲弥 古久保良

理事

事務局：岩本古城 学術局：青木健太 地域包括ケアシステム推進局：水田達也

社会局：静智弘 広報局：土井真衣 財務局：中武夕真 教育局：中瀬通子

地域支援局（新設）：尾藤博隆 地域局、保険局は廃止

監事

西本千津 坂井俊文

令和 2 年度第 2 回理事会

開催日:R2 年 7 月 29 日 (水) 19:00~20:45

リモート会議 参加理事:山崎 天野 古久保 岩本 静 水田 中武 土井 青木 尾藤 中瀬

○山崎会長

- ・ R2 年 7 月 11 日全国会長会議出席 (zoom 会議)
- ・ 法人登記手続き中。近日中に登記完了。
- ・ 協会からのコロナ対策支援金(5 万円)の使用についてコロナ対策物品他リモート機器購入費にあてる。

○天野副会長

- ・ R2 年度地域リハビリテーション研修会について
- ・ POS3 士会合同で 5 時間以上を Web 研修で行う。プログラムと講師について地域リーダーと検討する。

○古久保副会長

- ・ 和歌山医大の補助金の申請が通ったが、総会時に講演会ができず中止。
- ・ 災害リハ事業は、Web 会議を中心として 7 月より再開。今後はオンラインで研修会などを行う予定。
- ・ 災害リハ局について、1~2 年を目途に局に格上げする。局員を増やし理事をたてる。JRAT マニュアルを参考に災害発生時対応を考える。

○事務局 岩本理事

- ・ R2 年度定時総会開催
- ・ 新理事メーリングリスト、2020 年各局事業実績、会組織図を作成。

○社会局 静理事

- ・ ふれあい人権フェスタについて今年度は不参加。
- ・ 第 25 回和歌山県病院協会学術大会・第 18 回和歌山県病院大会 (11 月 15 日 (日) 9 時 30 分~15 時 50 分)
アバローム紀の国
当会は第 1 会場担当 (パワーポイント係、タイマー係、会場係、照明係 4 名を社会局で調整。山崎会長、水田理事、座長に尾藤理事が参加予定
4 題あれば ST だけの群ができるので、積極的な演題発表のご協力をお願いしたい。

○学術局 青木理事

- ・ 今後予定している学術大会や勉強会等は、コロナの収束状況をみて検討。

○地域包括ケア推進局 水田理事

- ・ 和歌山市の地域ケア会議、通いの場作り事業は再開

○広報局 土井理事

- ・機関紙言の葉第 20 号を 8 月末頃にホームページへアップ予定

○地域支援局 尾藤理事

- ・R2 年度失語症者向け意思疎通支援者養成研修

8 月 22 日(土)から開始(全 12 回を予定)受講者 10 名。

開会式に来賓として和歌山県障害福祉課大内様に出席を打診

R2 年度失語症者向け意思疎通支援者指導者研修。今年度は Web 開催となる。

- ・失語症者向け意思疎通支援者派遣事業について

和歌山県担当課から当会への事業委託について、窓口は市町村を通して派遣調整を地域支援局で行い県へ返す形が望ましい。

○教育局 中瀬理事

- ・基礎講座開催はコロナの収束状況をみて検討する。

新入・異動・退会等会員情報

(令和 2 年 8 月現在)

<新入>

311 小川 千恵美(河西田村病院) 309 小倉 佑子(紀南病院) 314 木下 初音(済生会有田病院)
315 竹内 萌(済生会有田病院) 313 根木 星奈(中谷病院) 312 西山 実来(和歌山ろうさい病院)
310 上地 友里佳(介護老人保健施設ルピナス) 308 黒田 晋平(和歌山つくし医療・福祉センター)

<異動>

232 鍵野 遥(和歌山ろうさい病院→自宅) 95 米地 勝哉(北出病院→ひだか病院)
215 神保 真美(紀南病院→自宅)

<退会>

252 宮崎 彩音(国保日高総合病院) 282 富永 真弓(角谷リハビリテーション病院)
171 新家 朱香(済生会有田病院) 285 菊澤 巧磨(角谷リハビリテーション病院)

現在の会員数

正会員： 167 名 学生会員： 0 名 賛助会員： 2 名 1 団体

※氏名、職場、自宅など連絡先に変更がある場合は、必ず事務局までお知らせください。

郵便物が届かなくなる恐れがあります。

事務局：琴の浦リハビリテーションセンター 言語療法室内

TEL: 073-481-4522

FAX: 073-444-9792

Mail:wakayama_st_jimu@yahoo.co.jp

[編集後記]

昨今より世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスに対しまして、皆様の勤務されている各施設にも影響がみられていることと存じます。心よりお見舞い申し上げます。本年は例年とは異なる県士会活動に不安がありますが、皆様のご尽力の下、持続可能な活動を考案できればと思います。新型コロナウイルスの1日も早い終息と皆さまの健康を心よりお祈り致します。

(白浜はまゆう病院 広報局員一同)

発行：和歌山県言語聴覚士会
会長 山崎 良一

事務局：社会福祉法人
琴の浦リハビリテーションセンター
〒640-0014 和歌山市毛見 1451
TEL：073-444-3141

編集：広報局
(公財)白浜医療福祉財団 白浜はまゆう病院
〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 1447 番地
TEL：0739-43-6200
FAX：0739-43-7891